

診療科目：

脳神経外科

専門医研修指導医

- ・ 責任者：溝口昌弘准教授
- ・ 実務者：秦暢宏講師、空閑太亮助教、有村公一助教、西村中助教
迎伸孝助教、波多江龍亮助教、三月田祐平助教、下川能史助教
- ・ 令和元年度 後期専門研修医 18名

取得可能な認定医・専門医

- ・ 全員が取得できるもの： 日本脳神経外科専門医
- ・ 希望者が取得できるもの：（ただし各々に必要な経験年数、症例数等あり。）
脳卒中学会専門医、神経内視鏡学会技術認定医、臨床神経生理認定医
脳神経血管内治療学会認定医、定位・機能神経外科学会技術認定医、
脊髄外科学会認定医、てんかん外科認定医、がん治療認定医など

専門医研修システム

九州大学病院を基幹病院とする各研修施設ならびに関連施設での研修を通じて、専門医取得に必要な幅広い脳神経外科全般の知識ならびに技術を習得する。原則として卒後3年目は九州大学病院での勤務とし、脳神経外科の基礎的な知識や、手術操作を習得することを目標とする。
4年目以降は各関連施設での研修となり、大学病院で学んだ知識や技術を実践する。

診療科の活動／PR

・基幹病院／研修施設／関連施設

九州大学病院、九州医療センター、嬉野医療センター、浜の町病院、九州厚生年金病院、九州労災病院、下関市立中央病院、製鉄記念八幡病院、九州中央病院、山口赤十字病院、飯塚病院、新古賀病院、馬場記念病院、蜂須賀病院、原三信病院、など

・科内勉強会

病棟カンファレンス：

術前・術後の症例検討を通じて、脳神経外科専門医に必要な知識を習得する。

脳腫瘍カンファレンス：

病理(病理医、神経病理医)、放射線科(神経放射線医、放射線治医)看護師、薬剤師など多岐にわたる専門家を交えて脳腫瘍患者の診断ならびに治療について様々な視点から検討を行うことで幅広い知識を習得する。

脳血管カンファレンス：

脳血管内科医との合同カンファレンスを通じ、脳血管障害に対する治療方針の検討を行い、基礎的・実践的知識を習得する。

内分泌カンファレンス：

内分泌内科医との合同カンファレンスを通じ、間脳・下垂体疾患に対する治療方針の検討を行い、基礎的・実践的知識を習得する。

・手術手技習得

脳神経外科では初期研修医から後期研修医、専門医まで幅広いレベルの手術手技があり、その経験年数や技術に応じた手術手技を習得する。特に後期研修医期間では、緊急性の高い頭部外傷患者、脳血管障害患者に対する迅速な治療方針決定を含めた手術手技の習得を目指す。

われわれの後期研修プログラムでは、上記カンファレンスや実臨床を通じて、世界に通用する脳神経外科医の育成をコンセプトに指導を行っています。脳神経外科専門医の試験合格率は60%前後と非常に取得困難な専門医の一つとされていますが、当プログラムを終えた先輩医師は全員専門医を取得し、各専門分野で活躍しています。脳神経外科医を目指す医師にとって最適のプログラムです。

連絡先

- ・電話 : 092-642-5524 FAX : 092-642-5526
- ・E-mail : <http://www.ns.med.kyushu-u.ac.jp>
- ・担当者 : 医局長 空閑 太亮
- ・診療科HP : <http://www.ns.med.kyushu-u.ac.jp/>